

◎ボルタレン SR カプセル ・ △錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ジクロフェナクナトリウム (U) Diclofenac Sodium 【分類】鎮痛抗炎症剤

【単位】◎37.5mg/SR, △25mg/錠

【常用量】75~100mg/日 (SR カプセルは75mg/日)

【用法】分3 または頓用, カプセルは分2 ■空腹時投与は避ける

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (3) 【その他の報告】HD, PD, CRRT とも消化器毒性, 腎毒性から投与を避ける (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】腎障害悪化の恐れがあるためできるだけ投与しない (5) 【その他の報告】減量の必要なし (3,10) 腎障害のおそれがあるため禁忌 (1)

GFR>50mL/min : 50~100%に減量, GFR 10~50mL/min : 25~50%に減量, GFR<10mL/min : 25%に減量 (12) GFR>50mL/min : 50~100%量, GFR 10~50mL/min : 50%量, GFR 10mL/min 未満 : 25%量 (17) 降圧剤との併用で腎機能が悪化することがある [危険因子 : 高齢者] (1)

【特徴】酢酸ベンゼンのクロロフェニルアミノ誘導体で抗炎症、鎮痛、及び解熱作用を有する。その他、白血球遊走阻止作用、細胞膜安定化作用、タンパク変性抑制作用を有する。SR カプセルはジクロフェナクナトリウムの除放射性製剤で、速溶性顆粒と除放射性顆粒を3 : 7の割合で混合。

【主な副作用・毒性】ショック、アナフィラキシー、出血性ショック又は穿孔を伴う消化管穿孔、SJS・TEN、再生不良性貧血、溶血性貧血、無顆粒球症、血小板減少、Lyell 症候群、紅皮症、急性腎不全、ネフローゼ症候群、重症喘息発作、間質性肺炎、うつ血性心不全、無菌性髄膜炎、重篤な肝障害、急性脳症、横紋筋融解症など

【吸収】90%以上 (11) 腸肝循環は少ない

【F】60% (10) 54% (13) 【初回通過効果】54% (1) 50% (U)

【tmax】SR カプセル 5.3hr、腸溶錠 2.5hr (13)

【Cmax】SR カプセル 100mg を単回経口投与後 0.42 μg/mL (13)

【代謝】CYP2C9 によって代謝 (4-が水酸化) される (1, 9)

【排泄】尿中未変化体排泄率 5%以下 (10) 1%以下 (12,13) 尿中に 40~65%回収されるが未変化体はほとんどなし (U) 糞便中に 35%回収 (U)

【CL】260mL/min (10) 4.2mL/min/kg, 加齢により低下 (13) 【非腎 CL/総 CL】100% (10)

【t1/2】diclofenac : 1.5hr (10) 1.1hr (13) 1~2hr (12) 1.2~2hr (U) 【腎不全患者の t1/2】腎機能正常者と同じ (12)

【蛋白結合率】99%以上 (10,12) 99.5%以上 (13)

【Vd】0.15L/kg (10) 0.17L/kg (1,13) 0.12~0.17L/kg (12)

【MW】318.13

【透析性】蛋白結合率が高いため、透析によって除去されにくいと思われる (5)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない 【OW 係数】13.4 [1-オクタノール/buffer, pH7.4] (1) 【pKa】4.0 (1)

【相互作用】抗血小板薬、抗凝固薬 : 出血リスクの増大 (1)

【効果発現時間】約 30min

【更新日】20220309

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。